

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会  
令和6年度第10回理事会報告

- 日 時：令和6年11月14日(木) 13:00—17:20  
○場 所：JSOSビル3F会議室4 及び Zoom  
○出席者：蛭田会長、古賀・吉田各副会長、小野寺専務理事、赤尾事務局長、野村・町田各常務理事、小高(13:15 から参加)・栗田・小田部・佐藤・島田・中島・中橋・畑中・濱田・樋口・前田・望月・安井各理事 以上20名  
佐久間監事、古屋監事 以上2名  
○欠 席：杉本・西谷・平田各理事 以上3名

1. 開 会

2. 蛭田会長からの挨拶

理事の皆様、本日は理事会にご参加いただきありがとうございます。  
11月に入り、令和6年度、2025年3月までの事業が見えてきました。  
残すところ、高校生SC選手権と3種類のジャパンカップです。  
現在までは、予算通りで事業を行っていますので、令和6年度の決算として利益になるように、引き続き理事会でご審議をいただき事業の実行をお願いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 開始時 23名中 19名出席(定款第33条、定足数=12名(1/2超) 監事数 2名出席

4. 議長選出

蛭田会長が議長を務める。(定款第32条)

5. 議事録署名人

会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題 (注. 審議順に記載)

議案第1号 議事録の承認について(前回第9回の議事録について)

10月中に回覧、確認され承認済

議案第2号 令和6年度上半期総括・事業報告について

配布資料をもとに、上半期総括を小野寺専務理事が、事業報告及び上半期会計報告を赤尾事務局長が、上半期監事監査所見を佐久間監事が説明した後、採決に入り、以下のように異議なく承認された。

反対 0名、 棄権 0名、 賛成 20名

議案第3号 協会表彰規程に基づく表彰候補者の推薦について

小野寺専務理事が、配布資料を基に、毎年行っている表彰について説明し、岳連向けに依頼することを伝えた。11/15にアナウンス 12/10までに推薦を受領する予定。異議なく承認された。

議案第4号 基金確認について

赤尾事務局長が、10月31日時点で、980万円振り込まれていること、基金申込者一覧表を説明した。

その後、980万円を、今後の資金繰りで、使用してよいかどうかの確認を行い、以下のように異議なく承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 20名

議案第5号 役員選考規程改定案について

古賀副会長（ガバナンス委員会主管理事）が、配布資料を基に説明した後、役員（年齢や任期制限、要件、文章の表現の変更等）の意見がでた。

それらの意見を加味し、ガバナンス委員会（11月18日開催予定）に諮ること、他の意見があれば、11月末までに古賀副会長あてに送付することとし、12月度の理事会で最終決定とすることにした。

理事の数については、定款の変更が必要で、総会での決議事項になることを想定し、見直す予定である。役員選考委員への申し送り事項としたい。

その後、古賀副会長（ガバナンス委員会主管理事）が、配布資料の役員選考委員の選任（案）に基づいて、ガバナンス委員会から推薦された以下の選考委員を提案した。

顧問（1名）： 田中文男  
理事（2名）： 古賀英年  
： 町田幸男  
監事（1名）： 古屋寿隆  
加盟団体正会員： 水島彰治（東）  
（2名）： 山田雅昭（西）  
学識経験者（1名）： 溝手康史

その後採決をとり、以下のように異議なく承認された。

反対 0名 棄権 0名 賛成 20名

議案第 6 号 A 登録のための義務研修に関わる初年度の扱いについて

赤尾事務局長が、配布資料を基に説明した。

初めて A 選手登録を、義務研修後にしようとする、今年度であっても、来年度もできる。

一方、B 選手登録者が、義務研修を経て、A 選手登録をしたい場合（海外等）次年度にならないと、A 登録ができない（当年度は A 選手登録ができない。）

規程を読んでも、判断がつかない。また、当規程を制定した旧理事がおらず、これ以上の調査ができないので、最新の状況から、どうあるべきかを、理事会で決めてほしいと要請した。

上記状況に対して以下のような意見が出た。

\*B 選手登録者を研修終了後に A 選手登録にすることは選手に対してメリットがあるので、期限を設けたうえで、同年度に A 選手登録にしても（スライドする）良いのではないか。

\*海外遠征等の機会も増えるので、JMSCA としても望ましいのではないか。

\*現状の研修方法については、対面の方法の在り方を見直し、オンラインによる研修の方法を充実させ、改善の余地があるのではないか（コスト、かける工数等）。

新規 A 選手登録者と同様、B 選手登録から A 選手登録へスライドすること（当年度に）について、以下のように異議なく承認された。

反対 0 名 棄権 0 名 賛成 20 名

休憩 PM3:40- 3:50

議案第 7 号 博報堂 DY マーケティング HP への JMSCA 写真掲載について

町田 SC 部長が、配布資料を基に、HDY から”大会写真掲載“についての要望の背景を説明した。

採決を取り、以下のように異議なく承認された。

反対 0 名 棄権 0 名 賛成 20 名

議案第 8 号（追加議案）

補正予算案及び、財政再建策、令和 7 年予算策定日程案について濱田理事が、画面から補正予算案の説明をした。

JMSCA 全体で、収支は+約 700 万円で、正味財産も 1375 万円の予定となっている。さらに、委員会毎に当初予算との差（登山普及、国スポ、SC 強化、CC、法人管理費）と主な黒字は SC 部からきていることを説明した。当内容について採決を取り、以下のように異議なく承認された。

反対 0 名 棄権 0 名 賛成 20 名

その後、濱田理事が、財政再建計画（事業規模の適正化、収入増加、正味財産強化に向けた取り組み）と、いつまでに誰がやるのかをリストアップが済んだので、進捗状況をトラッキングしていくこと、4 半期毎に 1 度、進捗状況を理事会に報告していくこと、実施項目案の補足説明をした。

この資料は、項目だして、確定したものではない。そのまま計画として独り歩きすることが無いよう取り扱いについては留意して欲しい、まだ外部に出すことは避けてほしいとの発言があった。

また、当内容の今後の管理（各項目の中身の詳細が欲しいという要望に対して）を吉田副会長が中心になって行うことが確認された。

採決の結果、以下のように異議なく承認された。

反対 0 名 棄権 0 名 賛成 20 名

また、令和 7 年度の予算策定の日程について、以下のような計画を報告した。

\*12/11 理事会で、部ごとの予算枠を提示する。

\*それに基づいて、各委員会は予算素案を各部長による確認の上 1/16 までに提出する。

\*その後、とりまとめと調整を経て、2/12 財務委員会、2/13 理事会で承認する。

\*3 月理事会は予備とする。

#### 議案第 9 号 ジャパンカップの日程について

町田 SC 部長が、画面から、2-3 月にかけての日程と開催場所

（BJC：駒沢、SJC：佐賀、LJC：三重）、及び最新の収支見込みを報告した。正式発表は、明日 11/15 の予定。

なお、本日 11/14 PM5 時から行うメディアブリーフィングで、上記を伝達することとした。

## 7. 報 告

小野寺専務理事が以下の内容を報告した。

報告第2号 山岳グランプリ公募について

表彰対象として、TJAR（トランスジャパンアルプスレース）実行委員会が特別賞（副賞なし）となることが、常務理事会で決まった。

報告第3号 山岳4団体連絡会議、懇親会報告について

20名近く参加し、好評だった。

報告第4号 田中名誉会長卒寿記念祝賀会報告について

85名が参加した。

報告第5号 登山月報改善に向けてのアンケート結果について

赤尾事務局長が、29岳連から回答があり、23岳連が不要で、6岳連が配布の継続を希望している。12月の理事会で対策案の承認をめざして、11月末に委員会関係者で対応案を打ち合わせる予定であることを報告した。

また、赤尾事務局長が、以下の6号から13号について常務理事会で承認されたことと、詳細は配布資料にふくまれているので各自読むように伝達した。

報告第6号 山岳共済会上期報告について

報告第7号 日本スポーツ賞推薦について（対象：安楽選手）

報告第8号 日本インカレ公認大会承認について

報告第10号 後援承認 国交省雪崩防災週間について

報告第11号 後援承認 全国山の日協議会山の日ニューイヤーフォーラム

報告第12号 ミズノスポーツメントール賞推薦について

報告第13号 指導員の認定について

報告第9号 事務局 JSOS 内移転計画について（口頭）

管理費削減のために、JSOS内のより省スペースの部屋への移転の実現性を検討調査している。移転による削減効果、移動費用の精査と、予算の確認をしている。

12月理事会で報告し承認を得られるように調査を進めたい。

## 8. その他

1. 2022年度赤字決算発生に伴う役員の責任と今後の対応について

蛭田会長から宣言文として、議事録に載せてはどうかという提案があった。どういうタイトルで、内容をどう表現するかは、次回理事会で決定することになった。

2. 理事会の情報が、外部に漏れた件について

委員会で、理事会の報告をした際に、一部の情報が公開され、その内容に話が集中してしまい、外部に情報が流出した事例が発生した。

再発防止のため、以下の内容を徹底することを理事会で確認した。

\*議事録が承認され、理事会報告として確定、公開するまでは、理事以外に公開しない。

\*委員会の報告では、参加委員にも守秘義務があることを伝えること。

\*概要レベルの情報にとどめることとし、中途半端な情報は出さないようにする。

3. 国スポ J-SP0 第5期実施競技選定調査について

望月理事が、画面から概要を説明し、関係理事、委員会に、情報収集の協力要請を行なった。また、12月中に提出するように依頼した。

4. アジアユース選考選手変更に伴う連絡について

島田理事が、SC強化委員会の解釈の違いにより発生した選考選手の変更連絡について経緯と今後の対応を説明した。

\*クレームを言ってきた保護者への対応が後手に回ってしまったこと

\*具体的には、発覚から伝達まで、2日（HPの一部）かかってしまったこと

\*発覚したら、会長名による文書送付と、HPへの掲載を速やかに行うこと

5. オリンピック祝勝会は、新春懇談会の時におこなう。

令和6年11月14日

記録 赤尾 浩一

以 上